



市民の誓い 私たちは 水を生かし 緑を広げ 安全に努め 心を育て 助け合います



市マスコットキャラクター おがっきい&おあむちゃん



▲時山炭保存会の川添峯輝さん(左)、川添美治さん(中)とともに、炭の出来栄を確認する中村明弘さん(右)



◀新たに完成した炭焼き小屋



◀新しい窯から炭を取り出す中村さん

「時山炭」復活へ！地域おこし協力隊員が継承

～ 師匠の技学び 新たな窯から立派な炭を～

かつて上石津地域の特産であった「時山炭」の復活をめざして、地域おこし協力隊員の中村明弘さん(46)が製炭技術を学んでいます。

上石津地域時山地区で古くから盛んに作られていた木炭は、火持ちの良さなどが評判で、「時山炭」として江戸時代には京都や名古屋にも出荷され、集落のほぼ全戸が製炭業に従事していました。昭和に入りプロパンガスが普及したことで急速に衰退し、近年まで数軒が細々と炭焼きを続けてきましたが、数年前に途絶えました。

なんとか製炭技術を残そうと時山地区の住民有志が令和4年3月に時山炭保存会を立ち上げ、炭作りを引退した川添美治さん(89)と川添峯輝さん(82)が師匠となり、継承の担い手として市が招いた地域おこし協力隊員の中村さんに、製炭の知識や技術を指導しています。

中村さんの手により、令和4年9月から「時山炭」の生産が再開。令和5年の夏からは、使われなくなっていた炭焼き窯跡を再利用し、地域の皆さんも協力して、新しい窯作りにも取り組みました。

新たな炭焼き窯は、牧田川のほとりの山間にあり、トタンの三角屋根で覆われ、一回の窯焚きで約330kgの炭を作ることができます。2人の師匠の指導を受けながら新しい窯での「時山炭」作りが順調に進んでおり、炭を取り出した中村さんから笑顔がこぼれます。

中村さんは「時山炭の継承には、製炭だけでなく先人の知恵が詰まった窯作りのノウハウも大切。先輩の技術を吸収して、みんなに喜んでもらえる立派な炭を作りたい」と意気込んでいます。

伝統を後世に引き継ぐ地域おこし協力隊員の活動について詳しくは、上石津地域事務所地域政策課(☎45-3113)へ。



火持ちが良く煙が少ないのが特徴の時山炭(1級)

2月15日号 主な内容

- ▶ごみ収集日の変更、国民健康保険料・介護保険料の休日納付相談、募集のお知らせなど…2～3P
- ▶おうちdeグリーンフォトコンテスト入賞者、税申告のお知らせなど…4～5P
- ▶【特集】どうする空き家のこれから…6～7P
- ▶催しのお知らせ・市民伝言板など…8～9P
- ▶健康ガイド…10～11P
- ▶男性の家事応援講座「手打ちそば」など…12P

炭作りを応援してください！

「時山炭サポーターズクラブ」会員を募集中

時山炭の文化伝承に取り組む「時山炭保存会」(川添公男会長)は、炭作りの継続に必要な販売先の確保につなげるため、時山炭サポーターズクラブを設立して、会員を募集しています。

会費は無料で会員証が発行され、入会するとお試し品として時山炭1kgがもらえます。会員は1kg当たり50円引きで炭を購入できるほか、中村さんの活動報告やイベント案内などがEメールで届く特典もあります。炭は災害備蓄品としても使えますので、ぜひ会員登録して、お得に時山炭をご利用ください。

入会申込など詳しくは、時山炭サポーターズクラブの会員募集サイトをご覧ください。時山炭保存会(上石津地域事務所内、☎45-3113)へ。



サポーターズクラブ 会員募集



サポーターズクラブへの入会を呼びかける中村さん(左)と保存会の川添公男会長(右)